

令和3年度第1回半田市図書館協議会議事録

開催日時	令和3年6月25日(金)	14時00分～15時20分
開催場所	半田市立図書館 第1会議室	
会議次第	1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 挨拶 4. 正副会長の選任 5. 議題 ・報告事項 (1) 令和2年度図書館利用状況等について (2) 令和3年度予算及び事業予定について (3) 第2次半田市子ども読書活動推進計画について 6. その他	
出席委員	出席委員 (会長) 前田佳男 (副会長) 鈴木恒夫 (委員) 吉戸孝司、百田昌弘、中村常生、中野優子、松下保江、沢田 和、石川幸子、新美陽美 ※敬称略	
教育部	教育長 鈴川慶光、教育部長 岩橋平武	
事務局	図書館長 山下由美、副主幹 田村元成、主査 竹内由香、主事 鈴木雄介	
次 第	議事概要	
1. 開会		
2. 委嘱状交付		
3. 挨拶 (教育長、教育部長)	(教育長) コロナ禍のもと、委員全員にご出席いただき感謝する。子どもにとって、読書はとても重要であると認識している。図書館だけでなく、保健センターでの「あかちゃんとしょかん」のような、幼い頃から本に触れる活動を充実させていかなければならない。読書にあまり関心がない人を引き付けるには、お菓子作りや音楽など、読書以外のものと組み合わせるのもよいと感じた。今年3月に導入した電子書籍は、図書館に来館しなくても楽しめる。あらゆる手段や方法を駆使して、読書活動を推進していく。協議会にも様々な角度からご意見をいただき、より良い活動としていきたい。 (教育部長) 電子書籍を導入したことで、図書館に来られない状況でも本を読むことができるようになった。もっと読書を身近なものにし、心の豊かさに繋げたい。色々なご意見を参考に進めていきたい。	
4. 正副会長の選任	会長に前田佳男委員、副会長に鈴木恒夫委員を選任。	

<p>5. 議題</p>	<p>報告事項</p> <p>(1) 令和2年度図書館利用状況等について 事務局から説明。質問は特に無し。</p> <p>(2) 令和3年度予算及び事業予定について 事務局から説明。</p> <p>(委員) 電子書籍の予算が高いが、これは初期構築分が含まれているからなのか？</p> <p>(事務局) その通り。</p> <p>(3) 第2次子ども読書活動推進計画について 事務局から説明。</p> <p>(委員) 「学校図書館司書（会計年度任用）職員情報交換会」とあるが、これは司書パートさんのことを指しているのか？</p> <p>(事務局) その通り。</p> <p>(委員) 学校での朝の読書タイムは、読書推進を図るうえでとても大事なこと。しかしながら、学校現場では読書タイムの確保が難しくなっている。今年度の各学校の状況は調査しているか？</p> <p>(事務局) まだしていない。次回協議会までに報告出来るよう、今後調査する予定。</p> <p>(委員) 巡回文庫が活用されているか効果測定できるように、アンケート項目に「巡回文庫の本は良かったか？」等の質問があれば良い。学校図書館司書（会計年度任用）職員情報交換会の対象は、司書パートだけか？</p> <p>(図書館長) その通り。</p> <p>(委員) もし可能なら、対象を司書教諭や学校図書館担当教諭にも広げて欲しい。教諭は理論を知っていると思うが、現場での具体的な実践方法を共有して欲しい。</p> <p>(委員) こういうサービスがあったらどうか、という意見はどのように組み込まれていくのか？</p> <p>(図書館長) この協議会での意見のほか、Webからの問い合わせ、市長への手紙なども参考にしている。</p> <p>(委員) 本を読んで楽しい体験というのは、他の人にも話したいことだと思う。読書体験を共有する仕組みやサービスがあったら良い。今は本を買う時には、SNSのレビューを見て判断することが多い。</p>
--------------	--

<p>6. その他</p>	<p>(委員) 友達から勧められた本が、一番効果的だと思う。</p> <p>(委員) 同じ本でも、読む人によって感想が違う。友達との共通の話題にもなる。</p> <p>(教育部長) 学校図書館や学校での読書タイムが、子どもの読書のきっかけとなっている。子どもの身近に本があるということの大切さを図書館含め教育委員会の中でも共有し、連携して取り組んでいく。</p> <p>(委員) 不登校や、孤独になってしまっている子どもに向けた支援につながらないか。難しいとは思いますが、本を読むことで新しい視点を持てたり、社会とつながるきっかけができたりすることもあるのではないかな。</p> <p>(副会長) 読書に関するアンケートで、本が好きな子は「家に本がたくさんあった」の回答が多いのは最もだが、単に本があっただけでなく、周りの大人が読書をしているのだと思う。子どもが本を読むように手立てをして、本を面白いと思わせるのが大事。例えば、子どもに合った本を目につくところに置いておいたら、自然と手に取るのではないかな。本、面白い?と聞かれたら、もちろん面白いと答える。大人が読書を楽しんでいるのを見せることが大切。</p> <p>(委員) ストーリーテリングをする際、(教科書で)どの学年がどのお話を読んでいるかを事前に把握することが大切。図書館で教科書を購入したと聞いたが、進捗状況はどうなっているのか?</p> <p>(図書館長) 調べ学習お届け便の内容検討用に、市内小学校で使用しているものの一部を購入した。利用方法は検討中。</p> <p>(委員) SNSの活用とは、具体的にどのようなことか?</p> <p>(図書館長) 現在は、学習スペースの空き状況など、事務連絡的なものが多い。</p> <p>(事務局) 他の図書館の状況を参考にして、改善していきたい。</p> <p>(委員) 子どもが電子図書館サービスの申込をする際は、メールアドレスが必要か。</p> <p>(事務局) メールアドレスは必要だが、小学生が自分でアドレスを持つのは難しいので、親のメールアドレスで登録することもできる。</p> <p>(教育部長) 学校図書館の図書購入予算は。小学校で1校あたり約60万円。中学校で1校あたり約</p>
---------------	---

100万円。各学校で同じ本を購入していても無駄なので、学校間で情報共有し、連携して利用できるよう改善したいところ。学校図書館用の電子書籍の導入も検討したが、課題が多い。

(図書館長)

他市町では、学校図書館と市立図書館が連携し、より良いサービスを提供しているところもある。

(事務局)

図書館の本を予約して、学校で受取可能な市町もある。学校図書館との連携について、今後検討が必要。

(会長)

この協議会では様々な立場の人が、子どもたちの成長に何が大事かを考え、接点を持って意見を出していただいている。この計画を文字だけのものにせず、しっかり前へ進めていけるよう協力していきたい。

(会議終了 午後3時20分)